

「地域理学療法学」講義前後の 大学生の地域リハビリテーションに 対するイメージの変化

下井俊典^{1) 2)}

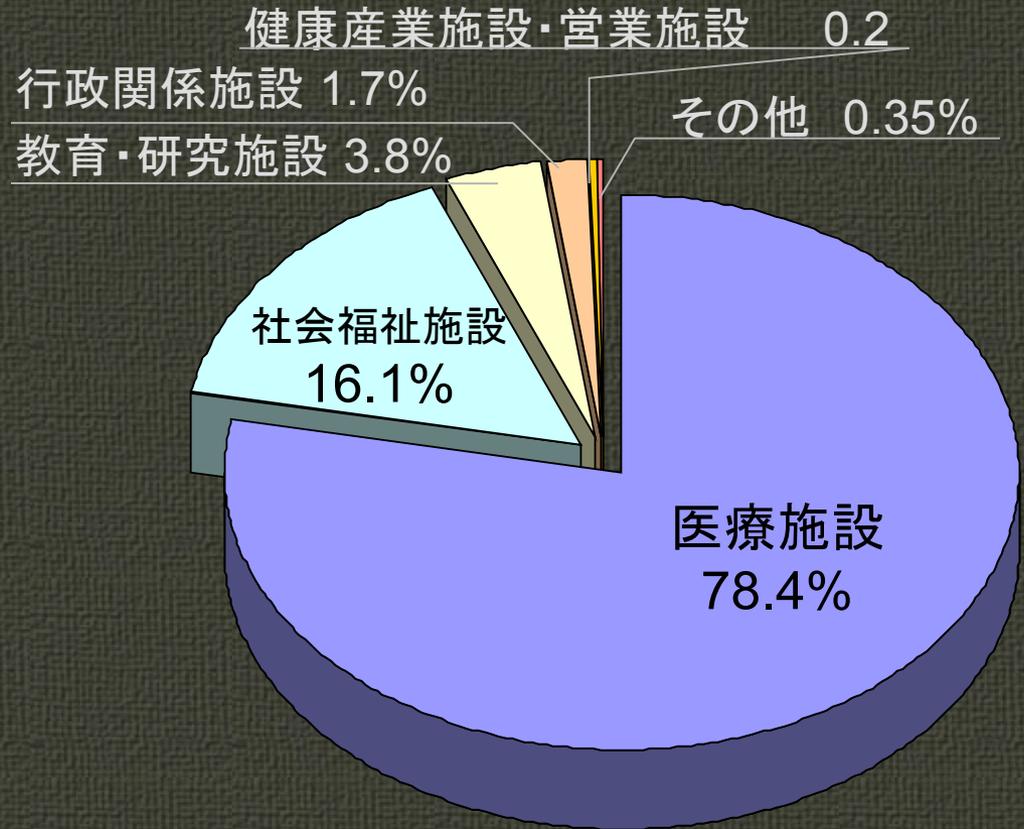
1) にしなすの総合在宅ケアセンター

2) 国際医療福祉大学保健学部理学療法学科

背景と目的

理学療法士の職域

(理学療法白書2005, n=7,824)



理学療法学科学生における

- 地域リハビリテーションに対するイメージ
- 同講義前後のイメージ, 興味, 勤務希望の変化

「地域理学療法学」講義内容

- 全7回中

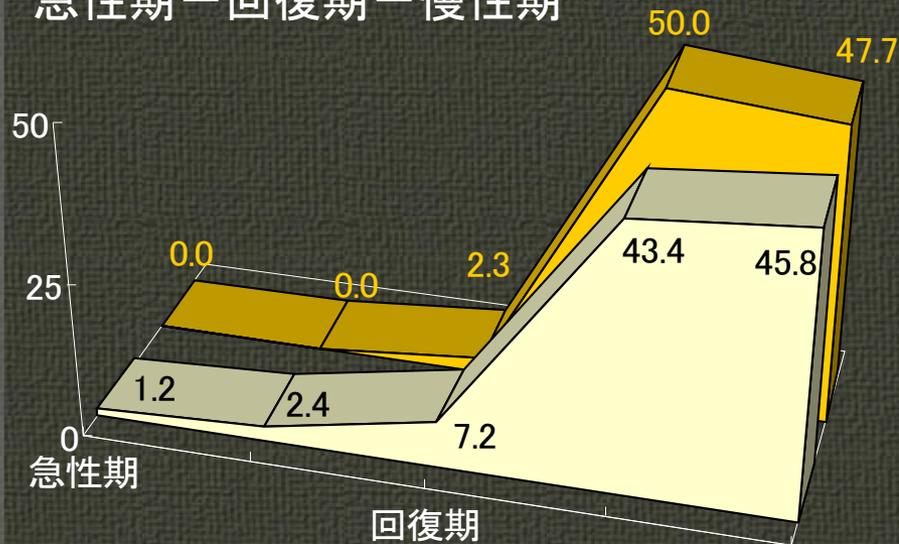
- － 介護保険制度各論

- 通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション
それぞれの長所と短所
 - 「集団」と通所サービス -社会参加促進に対する
通所サービスの役割と限界-
 - 介護保険制度における理学療法士の役割

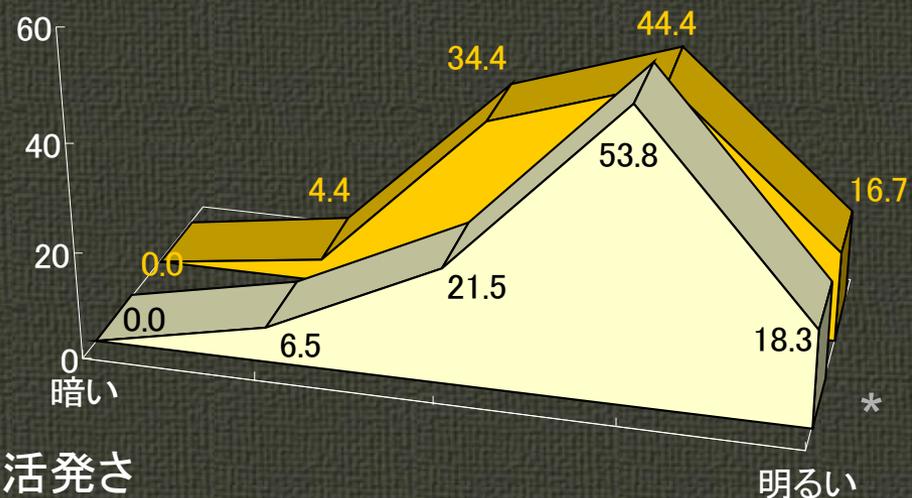
- － 介護保険制度総論

地域リハビリテーションに対するイメージについて

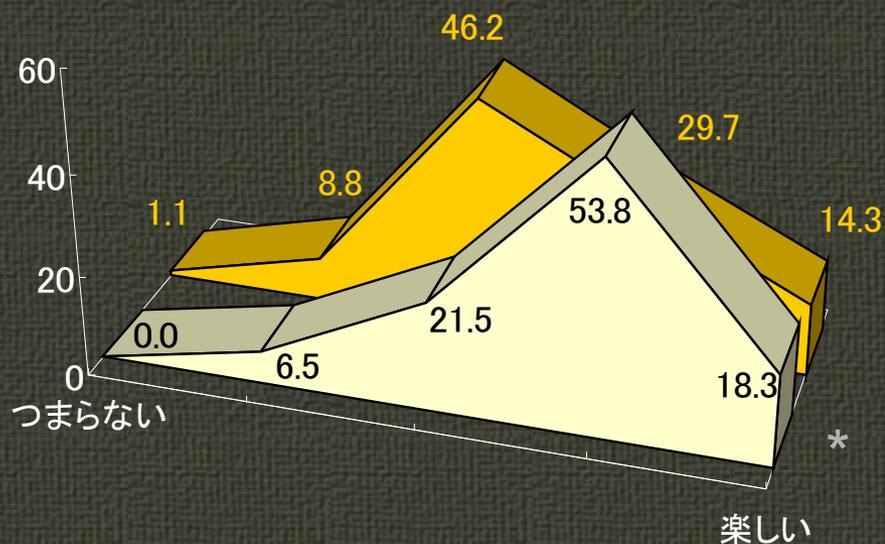
急性期—回復期—慢性期



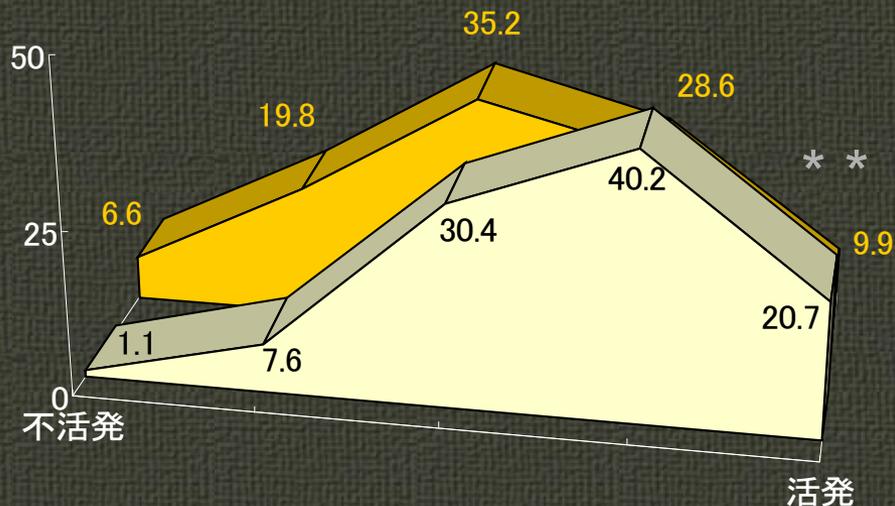
明るさ



楽しさ



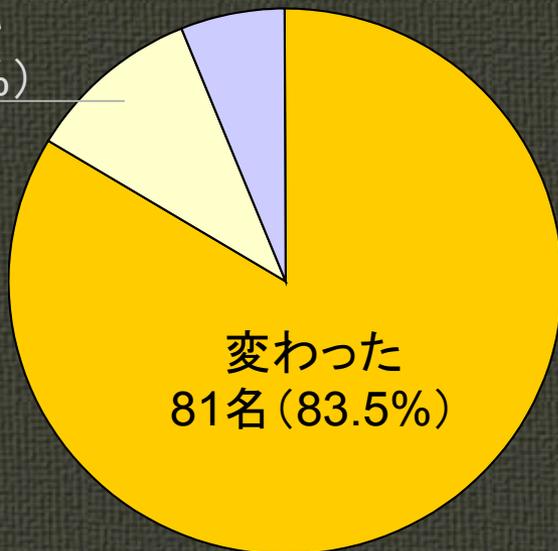
活発さ



*: $p < .05$, **: $p < .01$ with Wilcoxon signed-ranks test

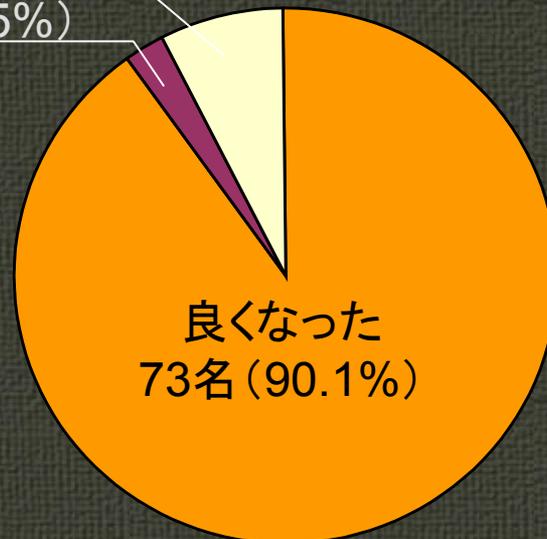
地域リハビリテーションに対する イメージは変わったか

変わらない
10名(10.3%)



悪くなった
2名(2.5%)

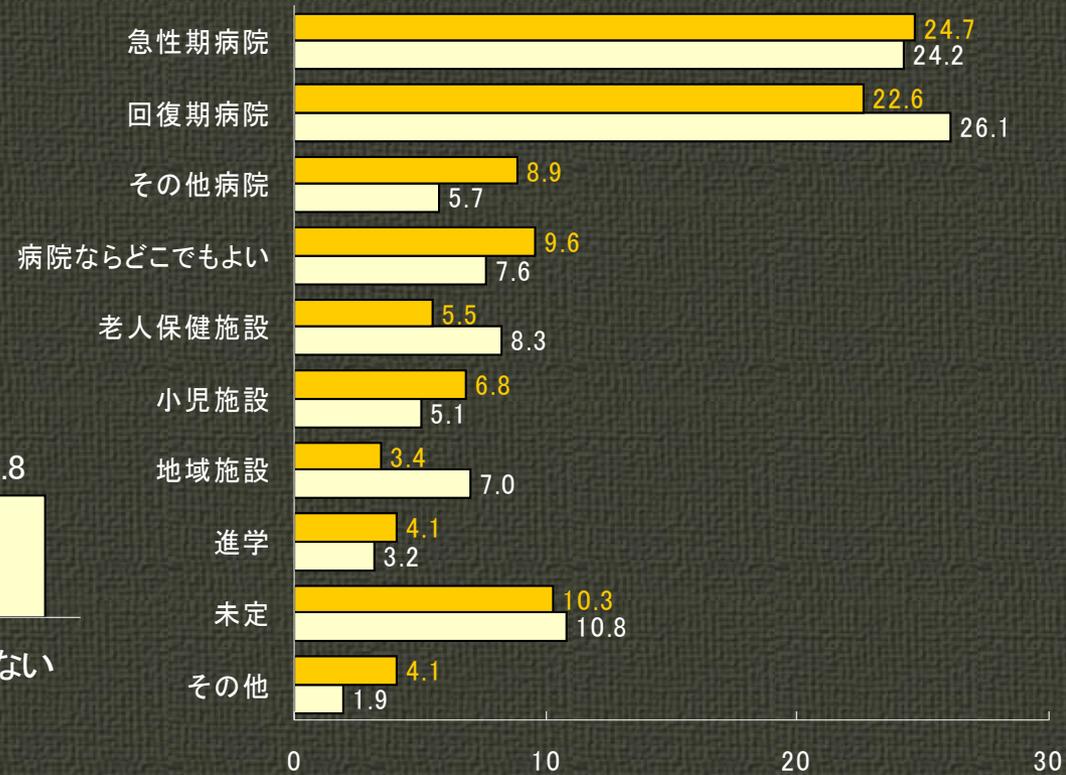
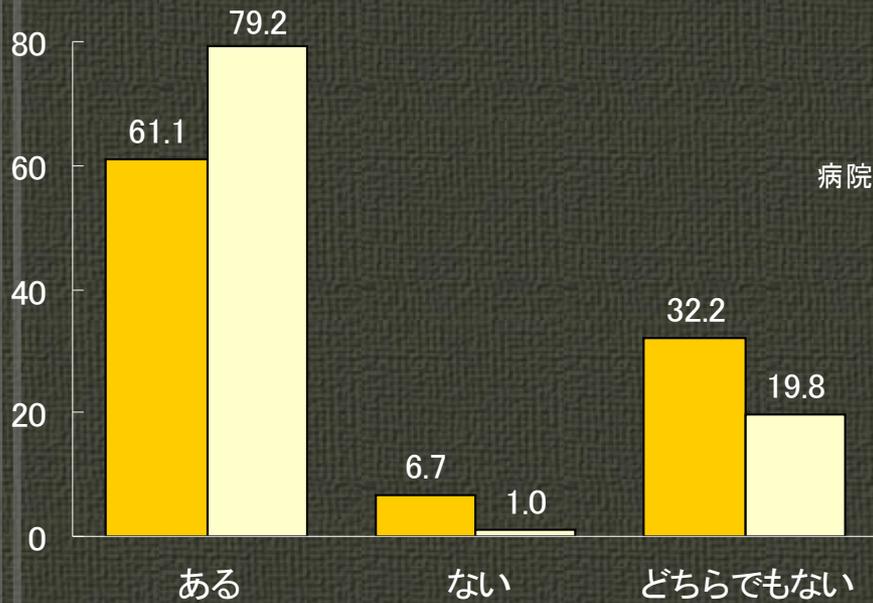
わからない
6名(7.4%)



なぜイメージが変わったか

- 制度・内容に対する理解の深まり (41名、48.8%)
- 講義前のイメージがよくない (17名、20.2%)
 - (地域リハは)病院のように、いろいろな機材を使えないため、あまり効果がないと思っていた
 - 暗いイメージを持っていたが、そんなことはないと感じた
- 興味がわいた (8名、9.5%)
- その他 (18名、21.4%)

地域リハビリテーションに対する 勤務希望先の変化 興味の変化



考察

- 講義前
 - 「地域リハビリテーション」に対するイメージは消極的なものが多かった
- 講義後において
 - 「明るさ」「楽しさ」「活発さ」のイメージは良好となった
 - 地域リハビリテーションに対する興味が増加した
 - 勤務希望地として
- 学生の興味
 - 「介護予防」、「他職種との連携」
 - 臨床現場の「動画」